

航空宇宙工学コース修学心得 (令和2年度入学生)

1. 卒業資格

- 1.1 基幹教育科目 48.5 単位以上を修得していること。
- 1.2 機械航空工学科必修科目 19 単位、航空宇宙工学コース必修科目 34 単位、航空宇宙工学コース選択必修科目 22 単位以上、および航空宇宙工学コース選択科目をあわせて専攻教育科目として 82 単位以上を修得していること。
- 1.3 卒業論文を提出し審査に合格していること。
- 1.4 会社工場見学に参加していること。

2. 卒業研究

卒業研究に着手するには、第4学年当初において次のすべての条件を満たしていなければならない。

- 2.1 高年次基幹教育科目を除く基幹教育科目の必要単位をすべて修得していること。
- 2.2 機械航空工学科必修科目と航空宇宙工学コース必修科目をあわせて 35 単位以上修得し、かつ、これらの必修科目と航空宇宙工学コース選択必修科目をあわせて 42 単位以上修得していること。なお、3年までに修得可能な科目の単位数としては、機械航空工学科必修科目と航空宇宙工学コース必修科目をあわせて 45 単位であり、航空宇宙工学コース選択必修科目は 22 単位である。
- 2.3 次の必修科目の単位をすべて修得していること。
 - ・情報処理概論
 - ・常微分方程式
 - ・複素関数論
 - ・フーリエ解析と偏微分方程式
 - ・基礎設計製図
 - ・航空宇宙機設計製図
- 2.4 再履修を必要とする必修科目がないこと。

3. 製図および実験

- 3.1 航空宇宙機設計製図を受講するためには、情報処理概論の単位を修得していなければならない。
- 3.2 図面や報告書等を所定の期日までに提出しない場合は、単位が認められない場合があるので注意すること。

4. 会社工場見学

例年、原則として次の時期に行なっているが、昨今の採用活動スケジュールを鑑み、見学先と時期を検討中である。

第3学年冬学期試験終了後 必修